

# ほっとニュース

第41号

8月、夏真っ盛りというか、とにかく暑い！！ですね。外の日差しを浴びると溶けてしまいそうです。私事ですが実は先日この暑いなか、甲子園球場に阪神 横浜戦を観に行っていました。適時打、ホームランも出て、見事、阪神が勝利しました！！夜空に色とりどりの風船が舞う様子は圧巻ですね。しばし暑さを忘れて感動し、存分に夏休み気分を味わうことができました。そして、そして、そうこうしているうちに夏休みは半分以上が過ぎ、お盆休みも終わってしまいました。あとは厳しい残暑とともに日々励むしかないのですね・・・(涙)。この厳しい夏を楽しく乗り切る工夫がありましたら是非教えてほしいのですが、皆様もぼちぼち休憩しつつ、給水しつつ、どうぞお体にお気をつけください。

さて、PASネットでは前年度に引き続き全国各地の権利擁護団体との交流ということで、6月に「リーガル・エイド岡山」、7月には「北九州市成年後見センターみると」を訪問しました。詳しい訪問記は以下に掲載致しますが、他団体の取り組みを見せていただくと、それぞれの特色や地域性に感心するとともに、共通する課題を抱えていることに気がつきます。9月以降、千葉のPACガーディアンズほか、いくつかの団体と交流を予定しており、この経験を日頃の権利擁護支援活動に活かしていくとともに、全国の権利擁護団体が手をつないでゆくきっかけにしたいと考えております。また今年度は地域の関係機関との連携強化、さらに地域啓発の意味をこめて阪神地区各市において事例検討会や権利擁護セミナーの開催を行っております。最近はPASネットの会員の皆様にも多くご参加いただいております、スタッフ一同感謝いたしております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 1、権利擁護事例検討会の報告(6月・7月)

今年度の事例検討会は通年のテーマを「高齢者・障害者の地域自立生活支援と権利擁護」として行っています。日頃、高齢の方や障害のある方から相談を受けたり、また実際に支援を行っている方から、地域での自立生活の継続に関して支援の困難な事例を挙げていただき、その事例から権利擁護支援ニーズを抽出して、グループワーク形式で検討を行っていきたいと考えています。また今年度は事例検討会を阪神地区の各市(尼崎市、伊丹市、芦屋市、宝塚市)に出向いて開催する予定しております、6月7月は尼崎での開催となりました。

6月はまず高齢者編ということで、2つの事例を挙げていただきました。ひとつは認知

症高齢者の日常金銭管理に関する事例、もうひとつは妻の介護を担っていた夫が、突然入院してしまった、という事例でした。

日常金銭管理は地域で自立生活を継続していくうえでとても大きな問題です。食料の確保、水道・ガス・電気等ライフラインの確保、家賃の支払など、まさに地域生活の柱に直結しており、逆に言えば、日常金銭部分の支援を受ければ、地域生活を継続できるというケースも多いと考えられます。しかし、金銭管理を人に任せる、誰かのコントロールを受けるといのはなかなか本人にとって受け入れがたいものであり、しかも認知症という状態像から本人の了解と信頼を得るには粘り強い関わりが必要です。ここではそれを行っていくキーパーソンの設定がひとつの大きな課題となりました。

二つ目は老々介護と福祉サービス利用でなんとか成り立っていた地域生活が、夫の入院をきっかけに崩れかけているという事例でした。現状では周囲の支援者がスクラムを組み、残された妻の地域生活を支えているのですが、それはいつまでも続けられる支援ではありません。支援をシステムとしてきちんと確立することが地域生活の継続には欠かせず、そのためにはご本人たちの意思やニーズをまず確認していく作業が必要となります。

引き続き7月の事例も紹介いたします。7月はその障害者編ということで、やはりふたつの事例を検討しました。ここではそのうちのひとつをご報告いたします。

50代の知的障害のある方が地域で母とふたり暮らしをされていたのですが、母が病気で入院、急に独居となった事例でした。6月の事例と状況はよく似ていますが、こちらの事例の方は対人関係の構築が難しく、これまで母のみが本人の世話や意思確認を行っており、福祉サービス等はまったく利用していません。今後ご本人の地域での自立生活をどう支えるのか、キーパーソンに誰がなれるのか、が大きな課題となっています。

ご本人の自立生活を支える要素として、福祉サービスの利用や経済的保障といった「生活支援」、財産管理や成年後見制度利用といった「法的支援」、それに本人の自己決定や本人との関係を確保していくなどの「本人支援」が考えられます。権利擁護支援を考えると、足りない支援、必要な支援を把握して導入したいのですが、その導入の方法はいくつかあります。ご本人にとって受け入れやすい方法を探るのはなかなか難しいですが、そこが支援者たちの知恵の絞りどころでしょうか。

この事例検討会はPASネットの会員であれば誰でも無料で参加できますし、会員でない方も当日にPASネットの会員にご登録いただければ参加できます。また、一度見学してみたいという方は、参加費二千元をお支払いいただければ参加できますので、ご関心のある方は是非ご参加ください。さらに、事例を報告してくださる方も大募集しています。こういったことで地域での自立生活が困難になりました、というような事例をお持ちの方、またこの事例検討会で支援の方法を検討したい、という方がございましたら、PASネットのほうまで、お問い合わせください。

## < P A S ネット月例事例検討会 >

日 時 : 2007年8月28日(火) 18:30~20:30  
テーマ : 「高齢者の地域自立生活支援と権利擁護」  
報告者 : 西本 裕子さん  
高橋 香織さん  
場 所 : 伊丹合同事務所内 P A S ネット阪神北事務所  
(伊丹市安堂寺町3-3-5 ウインドフォーイタミ3F)  
\*今年度は場所が変わりますので、ご注意ください。

## 2、リーガル・エイド岡山・北九州成年後見センター「みと」訪問

内田扶喜子

P A S ネットは、各地の団体の実践から学び、相互交流を図るため、昨年から今年にかけて、全国の権利擁護団体との交流を行ってきました。先進的取り組みとして知られている「出雲成年後見センター」を皮切りに西日本の団体と交流し、今年はSネット(湘南ふくしネットワーク・オンブズマン)をはじめとする東日本の団体との交流に取り組んでいます。先ごろは、木口財団の助成事業の一環としてリーガル・エイド岡山と北九州後見センター「みと」との交流に行ってきました。

法律職と福祉職の連携、ネットワークの活用など、P A S ネットと共通する方法を取っている団体もあり、権利擁護支援のあり方、適切な権利擁護活動とは何かについて、多くの示唆を得ることができました。また、全国で同じような活動をする「仲間」とつながることは、P A S ネットの活動の大きな励みにもなりました。地域に根ざした活動を続けながら、普遍的な考え方と仕組みにするためにはどうしたらいいか考え続けています。

現在、全国で活動している団体は、高齢者・障害者の権利擁護という大きな理念は共通しているものの、組織形態も多様で、団体の成り立ちや性格、構成員、地域の状況によって、目標とすること、活動の内容もさまざまです。これは権利擁護支援についての考え方の違いのあらわれでもあります。個別の支援では、支援者個人の職種や力量や熱意に多くを負っているところがあるため、支援目標も内容も一定していません。権利擁護支援を、全国どこの地域でも通用する仕組みとして普遍化するめためには、基本となる考え方と方法論において、共通認識が必要です。今後も、相互交流を継続して学びあい、理念の共有化を図り、そして全国的な「権利擁護支援ネットワーク」を形成できないかと考えています。そのつながりを力にして、日本の福祉施策に権利擁護支援の思想と事業を確かに位置づけ、地域の権利擁護システムの構築を目指していきたいと思っています。

## PASネットが交流した団体

2005年5月	出雲成年後見センター（島根県出雲市）
2006年7月	宮城福祉オンブズネット エール（宮城県仙台市）
2006年8月	東濃成年後見センター（岐阜県多治見市）
2006年9月	伊賀地域福祉後見サポートセンター（三重県伊賀市）
2006年9月	あさがお（滋賀県大津市）
2006年9月	徳島当事者擁護ボランティアホップス（徳島県徳島市）
2006年9月	そよかぜネット（宮城県仙台市）
2006年10月	東松山市（埼玉県東松山市）
2007年6月	リーガル・エイド岡山（岡山県岡山市）
2007年6月	西成後見の会（大阪府大阪市）
2007年7月	北九州後見センター みると（福岡県北九州市）
2007年7月	湘南ふくしネットワークオンブズマン（神奈川県茅ヶ崎市）
2007年9月	PACガーディアンズ（千葉県）... 予定
2007年9月	多摩南部成年後見センター(東京都調布市) ... 予定

### 後見こぼれ話・・・後見業務の一端をご紹介します新コーナーです！

Yさんは先日介護老人保健施設を退所され、在宅生活に復帰されました。というか、「施設はいややねん、帰りたくないねん」と自宅外出から自宅独居生活へ強行突入、急きょヘルパーさんの手配やら、食料の買出しやら、ご近所への挨拶やらてんやわんやの大騒ぎに。当のYさんは「パーマかけたいわ〜」、「あなごのお寿司でも」と涼しいお顔・・・おかげで2週間土日をつぶしたPASスタッフM子さんは疲労困憊、脱力状態で風邪まで引いた始末。でも施設と自宅ではYさんのお顔が全然ちがうんですね。Yさんの強い意思、たくましい生活力に感動！！でも、Yさん、こんな強行軍はこれっきりでお願いしますよ〜。

## ~ TOPIC ~

### PASネット権利擁護講座の開催について

PASネットでは、7月から権利擁護講座を開催しております。既に伊丹、西宮の2回が終了しましたが、たくさんの皆様のご参加をいただき、好評を得ることができました。今後8月から11月にかけて、6回ほど開催いたします。

テーマは「虐待防止」、「財産管理と権利擁護」、「成年後見制度利用」の三つを用意しております。定員は20名、弁護士と福祉職が講師となり、少数で話し合いながらすすめるスタイルです。定員まであと若干名となっておりますので、関心のある方は早急にお申し込みください！参加費は1講座につき千円となっております。お問い合わせ・お申し込みはPASネットまでお願いいたします。

～あとがき～

PASネットは現在、日々の活動に加えて助成金事業の実施、出版本の原稿書き、全国行脚などなど大忙しの毎日です。その合間に夏休みに盆休み、プライベートスケジュールまで大忙しで（あれ？私だけ？）、夏休みの宿題がちっとも終わりません。夏が終わる頃には冷や汗をかくことになりそうですが、あまりの暑さに頭がボーッ……。でも仕事って追い立て（追い詰め？）られているくらいのほうがはかどりますよね～？気合を入れるために、誰か私の目の前にモチをぶらさげてください。実はここだけの話？PASネットは夏以降もフル操業が続きそうなんです。もう巻くネジがない？らしいPASネットの面々なのですが、私もこの欄でグチをこぼしつつ、なんとか頑張ります。（BB）